

# ふるさとの文化財散歩

都留市は埋蔵文化財包蔵地「遺跡」が県下の他市町村に比べて数多くあり、県東部における埋蔵文化財中心地でもあることがよく知られています。

このことは、富士山が今の形をしていなかった、今から約一万年前の縄文人たちの時代から、都留市がいかに住みよかったかを示しているようです。

昭和三十九年九月には古渡において都留市が、県下の地方公共団

体として初めての考古発掘調査を行って以来、同様の調査を市内各所で実施してきました。

これにより、数多くの貴重な出土品や記録を残しています。

今月号から四回にわたって私たちの遠い先人の残した貴重な出土品のご紹介をしてみたいです。

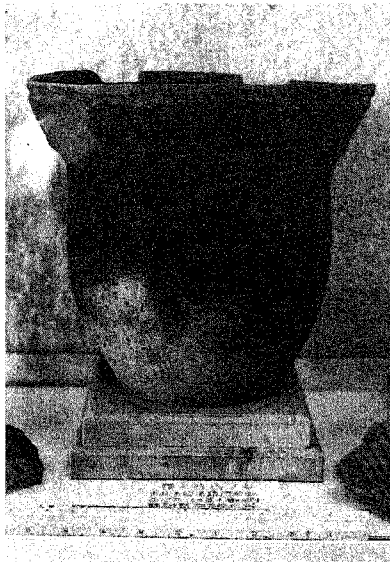
なお、これらは市立図書館の入り口ロビーに展示されていますのでご覧ください。

## 縄文式かめ

### 市指定有形文化財第三号

昭和三十二年七月に市道法能宮原線道路改良工事の際、現在の住吉球場付近の地下一・五メートルの炉の石組のかたわらに埋もれていたものです。

このかめは、縄文時代中期に属するものと考えられ、比較的薄手



出土したことは、今後の研究のうえでも、縄文人の生活を知る資料としても貴重なものと考えられます。

寸法

高さ 三三・〇

センチメートル

口径 三二・五

センチメートル

## 中谷遺跡出土品

### 市指定有形文化財第八号

中谷遺跡は小形山中谷地区の中央高速道路高架橋の付近で、地元では「十二天原」と呼んでいる所です。

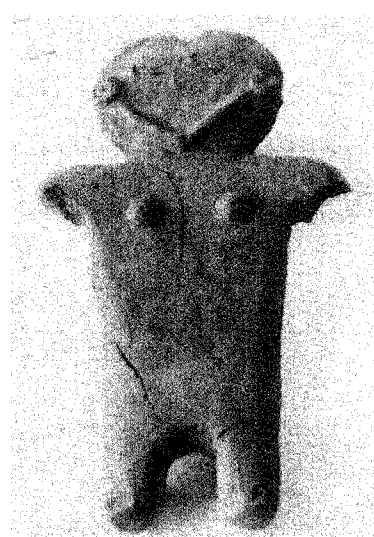
調査は昭和三十九年、四十七年、五十四年の三次わたり、中央高速道路や農道の建設に伴い実施されました。

第一次調査では中央道の高架下のゲートボール場付近の発掘を行い、縄文時代後・晩期のこぶし大から人頭大の河原石を並べた配石遺構が発見されました。

第二次調査では前回の調査地点から東側で発掘を行い、住居跡二軒と配石遺構や土偶などが発見され、出土した土器から縄文時代晩期とわかりました。

特にこの調査において大きな成果は、独特の形をした一体の土偶の発掘でした。それは、両腕が欠損していましたが、全体に朱色の丹を塗った耳飾りを付けた土偶でした。また、さらに、大きさは異なっているものの、土偶と同じ形をした「耳飾り」(耳栓)が発掘されたことです。この土偶は国立博物館などにも展示され、当時の習俗がわかるものとして全国的に知られるようになりました。

第三次調査では、現在は高架下



の側道中谷寄りでは発掘を行い、縄文時代後・晩期の住居跡七軒と配石遺構及び奈良時代の住居跡二軒などが発見されました。さらに、配石遺構に伴って土器片の上に埋葬されていた人骨三分分が発見されて調査の結果、壮年期の女性と十一歳前後そして三歳前後の子供のものとなりました。

これらの三次にわたった調査により、著名な遺跡で、高川側の平坦部には住居群があり、仰ぎ見る小高い場所には祈りなどの場としての配石遺構があったことが想定され、全国的に知られるような貴重な土偶などを出土しました。

## 新緑の高川山へ

### 登山会開催

尾県郷土資料館協力会では、高川山をより多くの市民の方々に親しんでいただくため、つきにより、登山会を計画します。

この三月には尾県郷土資料館協力会と地元の有志の方々の手で山頂に御影石の立派な方位案内盤を設置しました。

今回は富士を眺めながら尾根道新ルートに登ります。

日時 5月19日(日)

午前8時～午後3時

(雨天の場合26日)

持参していただく物

昼食・水筒・雨具

保険代金100円

定員 30名

締切 5月15日(水)

申込・問合先

尾県郷土資料館 ☎(45)0675

(火・木・土・日・祝)

午前10時～午後4時)

教育委員会社会教育課

## ふるさとの



5日 端午の節句 市内各地  
石船神社祭礼 朝日馬場  
12日 花まつり 耕雲院

13日 儀秀稲荷大祭 西涼寺  
19日 つる子どもまつり  
20日 観音講 都留文科大その他  
28日 鬼子母神祭 信行寺  
29日 アツソ観音縁日 保寿院